Air Sync
Air Remote
ユーザーガイド

Air Remote
CHANNEL
ON
1 2 3 4 5 6 7 8
MODE
TEST
TRANSMIT
RECEIVE
HEAD
MODEL
ENERGY
MASTER
GROUP
A B C D E F
Profoto
Air Sync
CHANNEL
ON
1 2 3 4 5 6 7 8
MODE
TEST
TRANSMIT
RECEIVE
Profoto

Profotoを選んでくださりありがとうございます。

Profoto Airデバイスの品質を信頼し投資していただいたお客様に心より感謝いたします。40年間以上、我々は完璧な光を追求してきました。我々を行動させるのは、我々が最も厳しいフォトグラファのためにさらに良いツールを提供することができるという信念です。我々の製品が出荷される前に、大規模で厳しいテストプログラムを通過させます。製品の一つ一つが性能、品質、安全性の面で基準を満たしているかを検査するのです。Profoto製品がパリ、ロンドン、ミラノ、ニューヨーク、東京、ケープタウンをはじめとする世界各地のプレンタルスタジオやレンタルハウスで使用されているのはこの高い信頼性のためです。

フォトグラファの中には、Profoto装置を使用したかどうか、画像を見るだけで見分けることができるという人がいます。

世界中のプロのフォトグラファはライティングと光拡散においてProfotoの専門的技術を評価するようになりました。我々の広範囲な光拡散ツールは、フォトグラファに彼ら自身の光を作り出し調整するために無制限な将来性を提供します。

すべての単一のリフレクターとアクセサリは特別な光を作り出し、ユニークなProfoto focusingシステムはいくつかの異なったリフレクターであなた自身の光を作り出す可能性を提供します。

Profoto製品を使ってお楽しみください。

注意事項

安全のための注意！

装置を使用する前には取扱説明書および付属の安全のための注意事項をよく読んでください。この注意事項は必ず装置とともに携帯し、いつでも参照できる状態にしてください！Profoto製品はプロの使用を想定して設計されています。ジェネレーター、ランプヘッド、アクセサリ類は屋内での撮影以外に使用しないでください。湿気、極端な電磁場に露出する可能性のある場所または可燃性ガスやほこりのある場所で装置を置いたりまたは使用してはいけません。装置を水没させたり水滴のかかる場所で使用しないでください。花瓶など、水分の入った容器を装置の上やそばに置かないでください。湿度の高い状態で装置を極端に温度差のある環境に置くと装置の内部に結露が発生しますので絶対に避けてください。この装置は他メーカーのフラッシュ機器と接続しないでください。付属の保護用ガラスカバーまたは保護用グリッドが無い状態でフラッシュヘッドを使用しないでください。　ガラスカバーにひび割れや深い傷など、目に見える損傷があり通常の効果が得られない状態になっている場合は使用せず正常なものと交換してください。ランプが損傷したり熱で変形した場合は交換してください。ランプをホルダーに取り付ける際は絶対に素手で電球を触らないよう注意してください。装置は、公認の有資格あるサービス要員によってのみサービスされ、変更され、または修理されなければなりません。警告 – フラッシュシンボルが表示された端末は危険です。

注意 — 感電の危険 — 高電圧！

電源ジェネレーターは常に保護アース接続のある電気コンセントに接続されていなくてはなりません。Profoto製の延長コード以外は使用しないでください！ジェネレーターやランプヘッドの蓋を開けたり、分解したりしないでください！
装置は高電圧の電力で作動しています。ジェネレーターのキャパシタは電源を切った後も長時間帯電したままになっています。アンブレラの金属製の支柱をリフレクターの穴に差し込む際はモデリングランプやフラッシュチューブに触れないよう注意してください。モデリングランプやフラッシュチューブを交換する際は、ランプヘッドとジェネレーターを接続するランプヘッドケーブルを取り外してから行ってください。メインプラグまたは電源接続器は、継手として使用されます。継手はすぐに操作可能なままになります。バッテリー（バッテリーパックまたは取り付けられたバッテリー）は、太陽光、火などの過度の熱に露出させてはなりません。

注意 — やけどの危険 — 高温部品！

装置の高温になっている部分には素手で触れないでください！モデリングランプ、フラッシュチューブ、その他いくつかの金属の部品は使用中に高温を発します！モデリングランプやフラッシュチューブを人に向ける場合は充分注意して、近付けすぎないようにしてください。全てのランプはごくまれな条件下で爆発し、鋭利な破片が飛び散ることがあります！モデリングランプに接続する電源がユーザーズガイドの技術資料の電源の欄に書かれている定格電圧に合致していることを必ず確認してください！

NOTICE

注意 — 装置が高温になる危険性

ランプヘッドの持ち運び用キャップは使用前に外してください！フィルターや拡散性の物質を装置の吸気口や排気口の前に置いて空気の流れを妨げたり、ガラスカバーやモデリングランプ、フラッシュチューブの上に直接それらの物を置くことは絶対に避けてください！

RFに注意!

この装置は、無線周波スペクトルを用い、無線周波エネルギーを発します。デバイスがシステムに組み込まれている場合は、適切なケアを行う必要があります。必ず本文書に記載のすべての仕様、特に動作温度と供給電圧範囲に関するものに従ってください。デバイスが現地の規制に基づいて作動していることを確認してください。本デバイスが使用している周波数スペクトルは他のユーザーと共有されています。インターフェースは除外できません。

最終的な処分

装置は環境に有害である可能性のある電気および電子部品を含みます。装置はWEEEに遵守してリサイクル料金なしでProfotoディストリビュータに返品される場合があります。製品寿命が終わったとき、廃棄物の個別処分のための現地の法的要件、例えばヨーロッパ市場での電気および電子器具のためのWEEE指令を遵守してください。

パッケージの中身

Profoto Air Sync (90 10 32)　Profoto Air Remote (90 10 31)

Profoto Air Sync Kit (90 10 35)

目次

システム内容

Profoto Airはカメラとフラッシュ装置両方の便宜なリモートコントロールのためのワイヤレスシステムです。小型で軽量のProfoto Airデバイスでは完全に自由な動きが可能で、仕事のクリエイティブな側面に集中することができます。

Profoto Airシステムは世界的な使用のために2.4GHz無線周波数帯の8つの選択可能な無線チャンネルの1つで作動します。

Profoto Air製品

すべてのProfotoフラッシュジェネレータとProfoto Airシステムが内部にあるランプヘッドはProfotoAirシステムによってコントロールできます。統合的Profoto Air機能性があるジェネレータにはProfoto Airシンボルが表示されます。

Profoto Air Remote

フラッシュエネルギーを含み、光コントロールをモデル化して、Profoto Air Remoteはカメラにおいて完全なジェネレータコントロールをもたらします。デバイスは、同時にマスターモードでまたは個々のグループで最大6つのグループにおいて無限の数のジェネレータを実際にコントロールします。Profoto Air Remoteでは、リモートカメラリリースとフラッシュ同期も可能です。

Profoto Air Sync

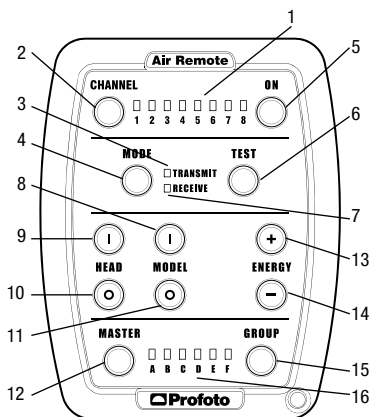
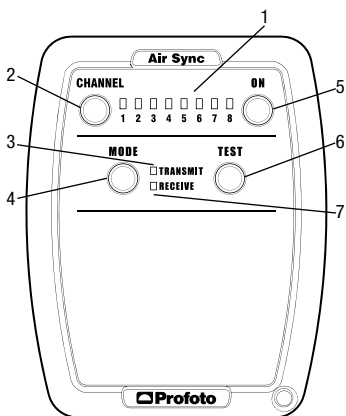
Profoto Air RemoteはProfoto Air Remote と同じ高い性能で実際に無限の数のジェネレータのリモートカメラリリースとフラッシュ同期を許容します。

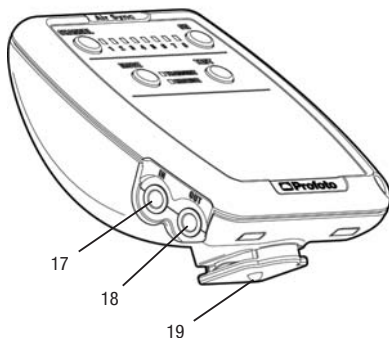
Profoto Air USB

Profoto Air USBデバイスはUSB 2.0を利用してProfoto Air機能のあるフラッシュジェネレータをPCまたはMacにワイヤレス接続する送受信機です。Profoto Air USBを使えば最大300メートル（1000フィート）離れた場所から照明の操作が可能です（遮るものが無い場合）。

Profoto Studio Air

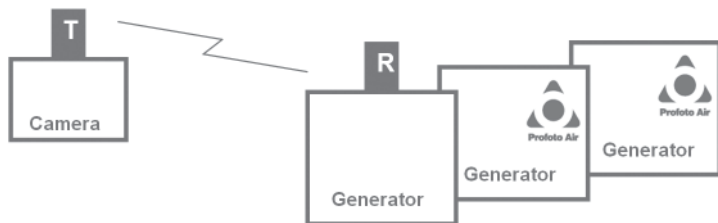
Profoto Studio AirはPCにもMacにも使用できるソフトウェアです。コンピュータから全てのジェネレータとランプヘッドを完全に制御することを可能にします。全てのヘッドを個別に調整できるほか、複数のヘッドをグループとして一度に操作することも可能です。さらに、自分の目的に合った照明設定を保存しておけば同じ設定を繰り返し利用することができます。

用語

Profoto Air Remote

Profoto Air Sync

1. チャンネルインジケータ
2. チェンネルボタン
3. 送信インジケータ
4. モードボタン
5. オンボタン
6. テストボタン
7. 受信インジケータ
8. モードボタン 1
9. ヘッドボタン 1
10. ヘッドボタン 0
11. モードボタン 0
12. マスターボタン
13. エネルギーボタン +
14. エネルギーボタン –
15. グループボタン
16. グループインジケータ
17. Inコネクタ（カメラ）
18. Outコネクタ（フラッシュ）
19. Hot Shoe コネクタ

接続

応用

同期

Profoto Air SyncおよびProfoto Air Remoteデバイスはともに、フラッシュジェネレータの遠隔同期に使用できます。同じ無線チャンネルをもつすべてのProfoto Airジェネレータは同時に同期するでしょう。内蔵のProfoto Airレシーバのないジェネレータのために、Profoto Air レシーバまたはProfoto Airデバイスをレシーバとして接続および使用することができます。

リモートコントロール

Profoto Air Remoteは、内臓Profoto Air機能性をもつジェネレータのリモートコントロールに使用できます。

ジェネレータ本体のボタンを押すなどの操作は不要です。設定および機能はProfoto Air Remoteデバイス上で制御できます。グループのランプヘッドのパワーセッティングを遠隔操作し、ランプヘッドをグループでオン/オフにし、モデリング光をオン/オフにすることが可能です。Profoto Air Remoteで変更した点は即座にジェネレータに反映されます。

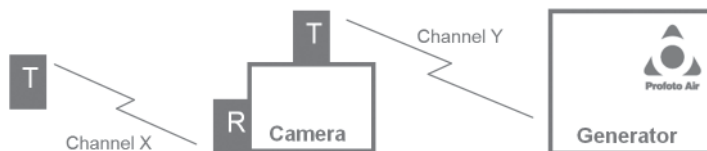
グループを用いて、ひとつまたは複数のジェネレータ上の選択したランプヘッドは、Profoto Air Remoteで同時に制御することができます。グループ選択によって、背景光などのいくつかのランプヘッドを含む大きなライトバンクを一つの光源として操作することが可能になります。

リモートカメラリリース

Profoto Air SyncおよびProfoto Air Remoteデバイスはともに、カメラの遠隔リリースに使用できます。レシーバとして利用されるひとつのProfoto Airデバイスはカメラに接続され、その他のProfoto Airデバイスはリリース信号のトランスミッタとして使用されます。

リレー

Profoto Air SyncおよびProfoto Air Remoteデバイスはともに、カメラの遠隔リリースに使用でき、カメラと同期したジェネレータの自動フラッシュを行います。

ふたつのProfoto Airデバイスがカメラに接続され、ひとつは手に収まるProfoto Airデバイスからのリリース信号のレシーバとして、もうひとつはジェネレーターの同期信号のトランスミッタとして作動します。異なる無線チャネルはリリースおよび同期信号送信に使用されます。

機能

送信/受信モード選択モードボタン[4]は、Profoto Airデバイスをトランスミッタまたはレシーバとして設定するために使用されます。送信インジケータ[3]および受信インジケータ[7]は選択したモードを示します。

チャンネル選択

チャンネル選択は、2.4GHzバンドの8つの特定の周波数の1つを選択するために使用されます。周波数は、信頼できる機能性を最適化するために全体の周波数帯に均等に広げられます。多くの無線チャンネルは、Profoto Airを使用する他のフォトグラファによって、またはWLAN、Bluetoothデバイスと広く使用される同じ2.4GHz周波数帯で作動する他の無線装置によって干渉されないチャンネルを選ぶことを可能にします。

同期そして/又は1つ以上のジェネレータのリモートコントロールのために、同じ無線チャンネルはすべてのジェネレータとProfoto Air デバイスに設定されるものとします。リモートカメラリリースについては、両方のProfoto Airデバイス（トランスミッタとレシーバ）に同じチャネルを設定する必要があります。

Profoto Air SyncとProfoto Air Remoteデバイスでのチャンネル選択はチャンネルボタン[2]で行われます。選択された無線チャンネル(1–8)に対応するチャンネルインジケータ[1] は照光されます。

グループ選択

グループは、選択されたジェネレータランプヘッドのリモート無線コントロールを許容するために使用されます。同じグループに割当てられるすべてのランプヘッドは同時にコントロールされます。同じジェネレータのランプヘッドは異なったグループに割当てることができます。また、異なるジェネレータのランプヘッドを同じグループに割当てることも可能です。

Profoto Air Remote デバイスにおけるグループ選択はグループボタン[15]で行われます。選択された無線グループ(A–F)に対応するグループインジケータ[16]は照光されます。マスター ボタン [12] は、すべてのグループを選択するために使用されます。

リモートコントロール

リモート無線コントロールは内蔵Profoto Airの機能性をもつジェネレータに利用可能です。

リモート無線コントロールのために、Profoto Air Remote デバイスのチャンネルとGroupセッティングの両方は、グループのランプヘッドのチャンネルとGroupセッティングにマッチしなければなりません。

ヘッドボタン 1 [9] はフラッシュランプヘッドをオンにするために使用されます。
ヘッドボタン 0 [10] はフラッシュランプヘッドをオフにするために使用されます。

モデルボタン1 [8]は モデリング光をオンにするために使用されます。
モデルボタン 0 [11] は モデリング光をオフにするために使用されます。

エネルギーボタン + [13] は エネルギーレベルを増すために使用されます。
エネルギーボタン – [14] は エネルギーレベルを減少するために使用されます。

エネルギーボタンを2秒間以内押してf-stopを1/10増してエネルギーレベルを調整します。

エネルギーボタンを2秒間以上押してf-stopを1だけ増してエネルギーレベルを調整します。

もしグループのフラッシュランプヘッドのエネルギーレベルが最小または最大の位置にあれば セクションコマンド確認 を参照してください。

マスターモード

マスターモードで、同じリモートコントロールコマンドは選択されたチャンネルのすべてのグループに送られます。

Profoto Air Remote デバイスのマスターボタン[12]で、すべてのグループが選択されリモートコントロールコマンドによって影響されます。

コマンド確認

もしランプヘッドが最小または最大の位置にあるために、エネルギーレベルが命令される通りにジェネレータによって設定することができなければ、Profoto Air Remote デバイスはコマンドが実行されなかったと合図するためにアコースティックサウンドを出すだろう。グループのすべてのフラッシュランプヘッドのエネルギーレベルは変化がないだろう。

テスト機能

テスト機能は、同期機能をテストするために使用されます。テストボタン[6]は予想される機能について確かめ、手動で同期信号を伝えるために使用されます。

テストボタン[6]も、リモートカメラリリースのためのリリース信号の送信に使用することができます。

速いモード

Profoto Air SyncとProfoto Air Remoteデバイスは非常にわずかな遅れで同期信号を送ります。速いモードでは遅れはさらに短いです。速いモードは、バッテリー消費がかなり高いので、非常に短いカメラシャッター時間で作動するときのみお勧めです。速いモードでは、リモートコントロール機能(Profoto Air Remote で利用可能)は無効であり作動しません。

自動電源オフ

Profoto Airデバイスは、30分の停止後、自動的にオフになります。自動電源オフ機能は無効化できます。

接続

Profoto Air SyncとProfoto Air RemoteデバイスはHot Shoe Connector [19]またはIn Connector [17]に接続するケーブルを通してカメラに接続することができます。

Profoto Airデバイスが受信モードでフラッシュ同期ユニットとして使用されるとき、デバイスはOut Connector[18]に接続するケーブルを通してジェネレータの同期入力ソケットに接続されるものとする。

バッテリー

Profoto Air SyncとProfoto Air Remoteデバイスは2個の標準のAAAバッテリーによって作動します。

取扱説明書

リモートフラッシュ同期Profoto Airデバイスは、遠隔からのフラッシュジェネレータの同期に使用することができます。

カメラのセットアップ
次のいずれかの方法で、Profoto Airデバイスをカメラに接続します。

a)Profoto Air上のHot Shoe Connector [19]をカメラのhot shoeにスライドさせます。

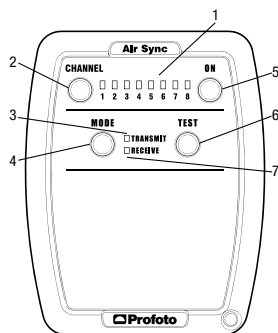
b) カメラの同期ケーブルをProfoto AirデバイスのInコネクタ[16]に接続してください。

ジェネレータセットアップ(内臓Profoto Airなし)

1. デバイスのOutコネクタ[17]からジェネレータの同期入力ソケットまでのケーブルを通して、ジェネレータに1つのProfoto Airデバイスを接続しなさい。
2. オンボタン[5]を押し続けて、Profoto Airデバイスを作動する。
3. 所定のチャンネルインジケータ[1]が照光するまでチャンネルボタンvを押しなさい。選択されたチャンネルはすべてのジェネレータに同じものとします。
4. モードボタン[4]を押して受信インジケータ[7] が照光するのを確かめなさい。

ジェネレータセットアップ（内臓Profoto Airあり）
1. 無線を通してジェネレータを同期に設定する。
2. 全てのジェネレータに同じ無線チャンネルを選択してください。

同期
1. オンボタン[5]を押し続けて、カメラのProfoto Airデバイスを作動する。
2. 送信インジケータ[3] が照光していることを確かめなさい。
3. 所定のチャンネルインジケータ[1] が照光するまでチャンネルボタンvを押しなさい。選択されたチャンネルはジェネレータの無線チャンネル設定と同じものとします。
4. ジェネレータフラッシュが期待どおりであることを確かめるためにテストボタン[6] を押しなさい。

リモートジェネレータコントロール
Profoto Airの機能を持つジェネレータは、Profoto Air Remoteデバイスで遠隔操作できます。

ジェネレータのセットアップ
1. 無線を通してジェネレータを同期に設定する。
2. 全てのジェネレータに同じ無線チャンネルを選択してください。
3. 同時に制御する必要のあるすべてのランプヘッドに同じグループ設定を選択します。

Profoto Air Remoteのセットアップ
1. オンボタン[5]を押し続けて、Profoto Air Remoteデバイスを作動する。
2. 送信インジケータ[3] が照光していることを確かめなさい。
3. 所定のチャンネルインジケータ[1] が照光するまでチャンネルボタンvを押しなさい。選択されたチャンネルはジェネレータの無線チャンネル設定と同じものとします。
4. 所定のグループインジケータ[16] が照光するまで、グループボタン[14]を押しなさい。選択されたグループは制御するランプヘッドのグループ設定と同じものとします。

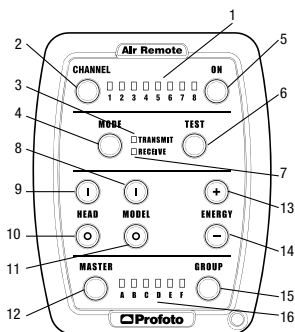
グループの選択
制御対象ランプヘッドのグループに対応するグループインジケータ[16]　が照光するまで、グループボタン[14]を押しなさい。

すべてのグループの選択
マスターボタン[12]を押して、すべてのグループを選択します。

ランプヘッドのオン/オフ
選択されたグループのすべてのフラッシュランプヘッドをオン/オフするためにヘッドボタン[9]と10]を押しなさい。

モデリングライトのオン/オフ
選択されたグループのモデリングライトをオン/オフするためにモデルボタン[8]と[11]を押しなさい。

エネルギーレベルの変更
選択されたグループのエネルギーレベルを増加または減少するためにエネルギーボタン[13]と[14] を使用しなさい:

a) f-stopを1/10増加または減少するためにエネルギーボタンを 2秒間以内押しなさい。
b) f-stopを1増加または減少するためにエネルギーボタンを 2秒間以上押しなさい。

リモートカメラのリリース

Profoto Airデバイスは、遠隔からのカメラのリリースに使用することができます。カメラには、電気シャッターリリース接続が搭載されていなければなりません。

カメラのセットアップ

1. シングルショットの場合、カメラをシングルモードに設定します。カメラがマルチモードに設定されている場合、カメラはテストボタン[6]が押されている限り撮影し続けます。
2. 使用するカメラ（Hasselblad、Nikon、Cannon）に対応したカメラリリースケーブルをカメラからProfoto Airデバイス上のInコネクタ[17]に接続します。

3. オンボタン[5]を押し続けて、Profoto Airデバイスを作動する。
4. チャンネルボタン[2]を押して、チャンネルインジケータ[1]の指示通りに無線チャンネルを選択します。
5. モードボタン[4]を押して受信インジケータ[7] が照光するのを確かめなさい。

カメラのリリース

1. オンボタン[5]を押し続けて、手に収まるProfoto Airデバイスを作動する。
2. 送信インジケータ[3] が照光していることを確かめなさい。
3. カメラに接続されたProfoto Airデバイスと同じチャンネルインジケータ[1] が照光するまでチャンネルボタン[2] を押しなさい。
4. カメラがリリースされるまでテストボタン[6]を押し続けなさい。

リレー

Profoto　Airデバイスは、カメラの遠隔リリースに使用でき、カメラと同期したジェネレータの自動フラッシュを行います。カメラには、電気シャッターリリース接続が搭載されていなければなりません。

カメラのセットアップ

1. シングルショットの場合、カメラをシングルモードに設定します。カメラがマルチモードに設定されている場合、カメラはテストボタン[6]が押されている限り撮影し続けます。
2. In コネタ[17]に接続されたカメラに対応するカメラリリースケーブルを使ってProfoto Airデバイス（レシーバ）をカメラに接続します。
3. Profoto Airデバイス（レシーバ）をオンにして、受信インジケータ[7]が点灯していることを確認します。
4. チャンネルボタン[2]を押して無線チャンネルを選択します。
5. Hot Shoe コネクタ[19] またはInコネクタ[17]を通して、カメラに別のProfoto Airデバイス(トランスミッタ)を接続しなさい。

6. Profoto Airデバイス（トランスミッタ）をオンにして、送信インジケータ[3]が点灯していることを確認します。
7. チャンネルボタン[2]を押して無線チャンネルを選択します。このチャンネルは、レシーバとして使用されるProfoto Airデバイスに選択されたチャンネルとは別のものでなければなりません。

ジェネレータセットアップ（内臓Profoto Airなし）

1. デバイスのOutコネクタ[17]からジェネレータの同期入力ソケットまでのケーブルを通して、ジェネレータに1つのProfoto　Airデバイスを接続しなさい。
2. Profoto Airデバイスをオンにして、受信インジケータ[7]が点灯していることを確認します。
3. カメラのトランスミッタとして使用するProfoto Airデバイスと同じ無線チャンネルを選択します。

ジェネレータセットアップ（内臓Profoto Airあり）

1. 無線を通してジェネレータを同期に設定する。
2. カメラのトランスミッタとして使用するProfoto Airデバイスと同じ無線チャンネルを選択します。

リリースとリレー

1. 手に収まるProfoto　Airデバイスをオンにして、送信インジケータ[3]が点灯していることを検証します。
2. カメラのレシーバとして使用するProfoto Airデバイスと同じ無線チャンネルを選択します。
3. カメラがリリースされてジェネレータがフラッシュするまでテストボタン[6]を押し続けなさい。

追加的機能

速いモード

余分な短い同期信号遅延が必要であるとき、速いモードが使用されます。

1. 速いモードにするために、ブザー音が鳴って送信インジケータ[3] が瞬き始めるまで、7秒間、モードボタン[4]を押し続けなさい。
2. 速いモードを終了するために、モードボタン[4]を1回押しなさい。

静かなモード

1. Profoto Airデバイスがオフになっていることを確認します。.
2. 静かなモードにするために、送信インジケータ[3]が点灯するまでヘッドボタン 0 [10]とOnボタン [5]を同時に押し続けなさい。
3. デバイスがオフになると静かなモードが自動的に無効化されます。

自動電源オフの無効化

1. Profoto Airデバイスがオフになっていることを確認します。.
2. 自動電源オフ機能を無効にするために、ブザー音が鳴るまでエネルギーボタン + [13]およびOnボタン[5]を同時に押し続けなさい。
3. デバイスがオフになると自動電源オフ機能が自動的に有効化されます。

工場設定

1. Profoto Airデバイスがオフになっていることを確認します。.
2. Profoto Airデバイスを工場設定にリセットするには、3回ブザー音が鳴るまでテストボタン[6]およびOnボタン[5]を同時に押し続けなさい。

技術資料

Profoto Air RemoteProfoto Air Sync

仕様	
周波数帯	2.4 GHz
個別の無線チャンネル	8
グループ/無線チャンネル	6
範囲	範囲最大300m(1000フィート)(遮るものが無い場合)
バッテリータイプ	2 x AAA
一般的なバッテリー寿命送信モード速い/通常	10時間/140時間
一般的なバッテリー寿命受信モード	30時間
同期遅延、速い/通常モード	200 μs/465 μs
アンテナタイプ	統合的
自動電源がオフ	30分間の停止
同期信号が入力	ISO518hot shoと3,5 mm電話プラグ
同期信号が出力	3,5 mmの電話プラグ

サイズ	
大きさ	70 x 50 x 40 mm (2.7 x 1.9 x 4.06 cm)
バッテリー付き/なしの重さ	40 g/70 g (1,4 oz/2,5 oz)

すべてのデータは名目的と考えられ、Profotoは予告なしに変更する権利を保有します。

規制情報

無線周波スペクトルの世界での使用

Profoto Air SyncとProfoto Air Remoteは、ライセンスフリーのSRD（ショートレンジデバイス）用2.4GHz ISM帯で作動します。この帯は、世界のほとんどの場所で使用できます。地域的な制約は適用されます。

注意!

*Profoto Air Sync*または*Profoto Air Remote*ユニットを使用する地域の国別規制を参照し、準拠していることを確認してください

EU適合宣言

無線・通信端末機器法および指令1999/5/EC（R&TTE指令）に従います

製造業者: Profoto AB
住所: Box 2023, 128 21 SKARPNÄCK, Sweden
製品: 2.4GHz SRD 通信モジュール
タイプ: Profoto Air Remote、Profoto Air Sync、Profoto Air USB

Profotoは、意図された用途において製品が§3およびその他のFTEG関連条項（R&TTE指令の第3条）の必須要件に準拠していることを宣言する。

適用される整合基準:無線システムのAir Interfaceは、3(1)b:EN 301 489-1, EN 301 489-17, EN 61000-4-3 Skarpnäck, 2009-03-02に基づいて電磁互換性に関する第3条(2)保護要件に適合しています。

Bo Dalenius, VPテクノロジーおよびQA
Profoto AB

米国とカナダ
F.C.C.とカナダ産業省

コンプライアンス声明（パート15.19）
このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ産業省のRSS-210に準拠しています。
操作は次の2つの条件に従います：
1）このデバイスは、混信を引き起こす可能性があります。
2）このデバイスは、予期せぬ混信の影響により、操作ができなくなることがあります。

警告（パート**15.21**）
コンプライアンスに責任を負う当事者によって明らかに承認されないいかなる変化または修正も装置を操作するユーザの権限を無効にするでしょう。

Ce dispositif est conforme aux normes RSS-210 d'Industrie Canada.
L'utilisation de ce dispositif est autorisée seulement aux conditions suivantes :
1) il ne doit pas produire de brouillage et
2) l'utilisateur du dispositif doit être prêt à accepter tout brouillage radioélectrique reçu, même si ce brouillage est susceptible de compromettre le fonctionnement du dispositif.

証明/登録番号の前の「IC」という文字は、カナダ産業省の技術仕様に適合していることを表すものです。

Les lettres 'IC' n'ont aucune autre signification ni aucun autre but que d'identifier ce qui suit comme le numéro de certification/d'enregistrement d'Industrie Canada.

Profoto AB
トランスミッタ/レシーバ
モデル: Profoto Air Sync
製品番号: PCA5108-0000

モデル: Profoto Air Remote
製品番号: PCA5102-0000
モデル: Profoto Air USB
製品番号: PCA5104-0000

FCC ID: W4G-RMI
IC: 8167A-RMI
スウェーデン製

日本

このモジュールは、日本での販売および使用許可を得ています。

特定無線設備の種類

指定無線装置の分類:第2条、1節、19項2.4 GHz広帯域低電力データ通信

上記のとおり、電波法第 38条の 24第 1項の規定に基づく認証を行ったものであることを証する。

これは、無線法の第38～24条第1文の条項に従って上述の証明がタイプごとに許可されていることを証明するものです。

Ⓡ 202WW08109202

Ⓡ 202WW08109203

Ⓡ 202WW08109204

アクセサリ

10 30 11 ケーブルカメラ PCから 3.5 mm

フラッシュ同期に使用され、カメラからProfoto Airトランスミッタにフラッシュ出力を接続します。

10 30 12 カメラリリースケーブル Cannonから3.5 mm

リモートカメラリリースに使用され、カメラの電気シャッターリリース接続をProfoto Airレシーバに接続します。

10 30 13 カメラリリースケーブル Nikonから3.5 mm

リモートカメラリリースに使用され、カメラの電気シャッターリリース接続をProfoto Airレシーバに接続します。

10 30 14 カメラリリースケーブル Hasselbladから3.5 mm

リモートカメラリリースに使用され、カメラの電気シャッターリリース接続をProfoto Airレシーバに接続します。

10 30 15　Cable Hot Shoe 3.5 mm からオス ¼ phono

フラッシュジェネレータの同期に使用され、ジェネレータをProfoto Airレバに接続します。

10 30 16　ケーブルフラッシュ 3.5 mm からオス ¼ phono

フラッシュジェネレータの同期に使用され、ネレータをProfoto Airレシーバに接続します。¼ phono同期コネクタのあるフラッシュジェネレータ。

10 30 18　同期アダプタ

フラッシュジェネレータの同期に使用され、ジェネレータをProfoto Airレシーバに接続します。

10 30 19　プラスチックHot Shoeグリップ

トライポッドやフラッシュジェネレータハンドルなどのその他の面へのProfoto Airデバイスの取り付けに使用されます。

10 30 20　ケーブルフラッシュ 3.5 mm から 3.5 mm

フラッシュジェネレータの同期に使用され、ジェネレータをProfoto Airレシーバに接続します。3.5 mm phono同期コネクタのあるフラッシュジェネレータ。

技術的なデータは予告なしに変更される場合があります。

344091-1-319. Printed in Sweden.

Profoto AB
P.O. Box 2023
SE-128 21 Skarpnäck
SWEDEN

Phone +46 8 447 53 00
info@profoto.com
www.profoto.com